

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 環境清掃課	関連部課名	総務部交通防犯課 企画部企画政策課
基本目標	美しい自然を未来につなぐまちづくり【環境・生活基盤】			
施策名	地球温暖化対策			
低炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出抑制に向けた行政の率先行動に努めるとともに、環境に配慮したワークスタイル・ライフスタイルの啓発、地域の再生可能エネルギーや代替エネルギーの安定的な確保及び利用促進に努めます。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●環境負荷の少ない、自然と調和した心豊かな暮らしをしています。 ●すべての人が自然生態系や地球環境との関わりに理解を深め、自ら行動しています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 低炭素社会に向けた先駆的取組の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
地球温暖化対策実行計画	23,992t-CO ₂	27,380t-CO ₂	26,095t-CO ₂

2 再生可能エネルギー・代替エネルギー活用の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
住宅用新エネルギーシステム導入促進費補助事業 (太陽光)	151件(688.65kW)	110件(543.64kW)	120件
住宅用新エネルギーシステム導入促進費補助事業 (太陽熱)	23件(83.65㎡)	9件(29.12㎡)	10件

3 環境に配慮したワークスタイル・ライフスタイルの提案

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
エコモビリティライフの推進	30.30%	28.80%	-

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画	将来目標
地球温暖化対策実行計画	目標値	26,633t-CO2	26,364t-CO2	26,095t-CO2	平成30年度 (25,557t-CO2)
	実績値	23,992t-CO2	27,380t-CO2	-	-
住宅用新エネルギーシステム導入促進費補助事業	目標値	230件	160件	130件	-
	実績値	174件	119件	-	平成32年度
エコモビリティライフの推進	目標値	-	-	-	-
	実績値	30.30%	28.80%	-	平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
地球温暖化対策実行計画	本市の行政事務に伴う温室効果ガスの排出量
住宅用新エネルギーシステム導入促進費補助事業	住宅用太陽光発電システム及び住宅用太陽熱利用システムの補助件数
エコモビリティライフの推進	本市職員の自動車と公共交通、自転車、徒歩等の比率

◆指標の分析

◆CO2排出量は平成27年度は増加に転じた。要因としてはごみ排出量に占める廃プラスチック量が平成26年度より増加したためである。他の要因での増減幅は小さかったことからプラスチック製容器包装の分別呼びかけを再度徹底することで第4次地球温暖化対策実行計画の目標数値を達成することは可能である。

◆住宅用太陽光発電システム及び住宅用太陽熱利用システムの補助の申請件数は平成26年度から減少が続いている。国の補助(J-PEC)が終了したことと固定価格買い取り制度の固定価格が引き下げられたことが実績の伸び悩みの原因となっている。愛知県も平成27年度から太陽光以外の補助メニューを増やしており、需要の傾向も変化してきていると考えられる。

◆エコモビの協力率は、平成27年度は減少に転じているが、近年は30パーセントを境に数値が行き来している。

◆今後の方針

<p>施策の課題</p>	<p>◆CO2の発生量が廃プラスチックの焼却量に左右されており、プラスチック製容器包装分別の啓発を絶えず行うことが必要である。</p> <p>◆補助申請件数は今後、伸び悩んでいくことが予想されるため、平成27年度からは実施した電動アシスト自転車の購入補助を始め、平成28年度はリチウムイオン蓄電池の補助も始めた。県の拡充した補助メニューに合わせ、需要が喚起できる形での補助メニューの充実も必要である。</p> <p>◆エコモビの協力率が毎年30%程度で横ばいであり、効果的な施策については全庁横断的に検討していくことが必要である。</p>
--------------	---

<p>今後の施策展開</p>	<p>◆第4次地球温暖化対策実行計画の実効性をより確実にするため「蒲郡市役所における環境保全のための行動指針」を見直し、具体的な提案を行っていく。</p> <p>◆太陽光及び太陽熱の補助件数については、今後の伸び悩みが予想される。愛知県住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金に上乘せする形で新たな補助メニューを検討していく。</p> <p>◆エコ通勤の取り組みについて市職員だけではなく、企業の協力も増えるよう引き続き広くPRしていく。また、職員の名鉄利用や路線バス利用促進とも連携した取組みも模索していく。</p>
----------------	---

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	太陽光発電システム導入の補助実績が落ち込む中、電動アシスト自転車購入補助、住宅用リチウムイオン蓄電池システム設置補助など、新たな補助メニューの充実を図ることにより、地球温暖化対策に取り組んでいる。 今後も需要と効果を踏まえつつ、補助メニューの拡充や見直しをしていく必要がある。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	国の補助が終了したことにより、太陽光発電システムの設置補助は今後の伸びは見込めない。平成27年度にCO2排出量が大きく増加した原因は、廃プラスチック量が増えたことが大きな原因となっており、ごみ排出量全体を減少させるためにも、更なる分別の推進を図る必要がある。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
4-6	環境清掃課	305	新エネルギーシステム導入促進費補助事業	8,650	2,624	0.45	B	オ	—	○
4-6	環境清掃課	306	エコモビリティライフ推進事業費	375	1,232	0.20	B	オ	—	○
4-6	環境清掃課	314	ユトリーナ蒲郡管理運営事業	35,971	3,393	0.45	B	カ	—	×